

# 桂川だより

令和7年度  
第2回学校評価特別号  
京都市立桂川小学校  
校長 佐久間 寧子



## アンケート結果集計表

質問ごとの回答の「そう思う」を○、「大体そう思う」を●、「あまりそう思わない」を△、「そう思わない」を▲で表示しています。数字の上段は6月、下段(太字)は今回の結果です。塗りつぶしの部分について、裏面に取り上げています。

## 第2回子ども育みアンケートの結果から

学校教育目標

「自ら課題を見つけ、  
ひとつかかわりながら  
豊かな心とことばで達成する子」の育成

めざす子ども像

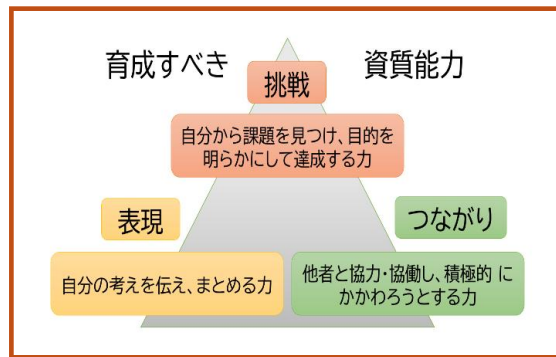
- ・目的意識をもち、意欲をもって解決しようとする子
- ・わかる喜びを知り、知る喜びを知り、自ら学ぶ子
- ・自分のおもいを、適切なことばで伝えられる子
- ・学び合える学習集団の中で自己有用感を持って育つ子
- ・互いの良さを尊重し、自分も他の子どもも大切にできる子

12月に実施しました第2回子ども育みアンケートの結果をお知らせいたします。

京都市の学校教育の重点、及び、本校の学校教育目標に照らし合わせた項目を設定し、「保護者」「児童」「教職員」それぞれの自己評価という形でのアンケートとしています。3者がそれぞれに自身の取組やかかわりを振り返り、見直しの視点を明らかにするとともに、今後の取組の改善につなげられればと考えます。

	児童				保護者				教職員						
	質問項目	○	●	△	▲	質問項目	○	●	△	▲	質問項目	○	●	△	▲
①	勉強をするとき、「なんのために学ぶか」を考えている。	45 38	41 44	10 14	4 5	学校の教育目標や目指す子ども像について理解している。	19 17	70 71	10 11	1 1	学校教育目標が教職員間で共有され、日々の教育活動に活かされている。	41 25	52 68	7 7	0 0
②	難しいことにも「やってみよう」と思える。	56 43	34 41	8 14	2 2	わが子が目的をもって学習に取り組む姿が見られるようになってきた。	26 27	55 54	18 18	1 1	児童が自ら課題を見つけ、目的意識をもって学べる授業づくりに取り組んでいる。	33 30	63 56	4 15	0 0
③	自分の考えを言葉で伝えることができる。	39 33	38 47	17 17	5 3	わが子が自分の考えを言葉で伝える力が育っていると感じる。	30 29	55 57	14 14	1 0	児童が自分の考えを言葉で表現する場面を意図的に設けている。	37 43	63 57	0 0	0 0
④	毎日進んで家庭学習をしている。	40 36	35 33	18 24	6 7	わが子に、家庭学習する習慣がつくよう働きかけている。	38 31	50 61	11 7	0 1	日々の授業と連動した家庭学習課題を設定し、日々の点検をしている。	52 28	39 68	9 4	0 0
⑤	朝読書やそれ以外の時間にも、進んで本を読んでいる。	40 30	27 27	20 27	13 16	わが子が本をよく読むように読み聞かせをしたり勧めたりしている。	21 18	44 45	31 27	5 10	子どもに読書習慣が身につくよう、読書ノートを有効活用したり、子どもたちに声かけをしたりしている。	33 31	50 42	17 27	0 0
⑥	学校は楽しい。	65 57	24 27	6 10	4 6	わが子が楽しく通学できるよう、学校の出来事で楽しかったことを中心に家庭で話を聞くようにしている。	46 40	51 51	3 8	0 1	全ての子どもが楽しく学校生活を送れるよう、校内や教室の学習環境を整えている。	56 39	37 57	7 4	0 0
⑦	友達や先生、地域の方に、自分からすすんで挨拶をしている。	47 45	37 36	12 16	4 3	わが子が家庭や地域、学校で挨拶できるように声をかけている。	49 44	48 52	3 4	0 0	教職員自ら積極的に挨拶し、子どもたちにも声かけをしている。	63 57	33 43	4 0	0 0
⑧	友達と一緒に考えたり、助け合ったりしている。	54 47	34 42	10 8	2 2	わが子が友達と協力したり、互いを尊重したりする姿が見られる。	41 35	55 59	4 5	0 1	児童同士が互いに認め合い、協力して学ぶ場面を大切にしている。	33 44	59 52	7 4	0 0
⑨	友達の良いところを見つけたり、大切にしたりしている。	59 53	32 36	7 9	2 2	学校からの情報提供や家庭との連携が適切に行われている。	27 28	65 68	7 4	1 0	教職員が協力し合い、児童の成長を支える風土がある。	44 29	56 68	0 4	0 0
⑩	早寝早起きをし、毎日朝ごはんを食べている。	49 42	34 37	13 14	4 7	わが子が、早寝・早起きをし、毎日朝ごはんを食べるようにしている。	66 59	30 34	4 6	0 1	子どもたちが規則正しい生活を送れるよう、声をかけたり働きかけたりしている。	48 43	48 57	4 0	0 0
⑪	きまりや約束を守って楽しく生活している。	57 47	35 44	6 6	2 3	家庭でのきまりや約束を決め、守るように声をかけている。	56 55	42 43	2 2	0 0	子どもが、きまりや約束を守って生活することがみんなが気持ちよく過ごせることにつながると考えられるよう、実践を進めている。	48 43	48 50	4 7	0 0
⑫	自分のことは自分で決め、良い行動ができる。	49 40	40 46	8 10	3 4	わが子が、できるだけ自分で考えて正しく判断し行動できるように声をかけている。	41 43	57 56	3 1	0 0	子どもが自分で考え、正しく判断し行動できるよう支援している。	52 39	44 61	4 0	0 0
⑬						HP や予定表・参観日などから、学校の様子や教育方針が伝わっている。	25 31	71 64	4 5	0 0	HP や学級通信、懇談会などで、学校の様子や教育方針を保護者に伝えている。	28 26	56 56	16 18	0 0

## アンケート結果について



・「表現」に関わる児童のアンケート項目「自分の考えを言葉で伝えることができる。」では、80%が「そう思う」「大体そう思う」と回答しました。前期と比べて3%向上し、子どもたちが自分の思いや考えを伝えることに前向きに取り組んだことが結果にも表れたと考えています。学校では、子どもたちの「『表現』自分の考えを伝え、まとめる力」の育成を目指し、様々な場面で子どもたちが自分の考えを言葉で表現する場面を意図的に設けてい

ます。国語科においては、子どもたちが読み取ったことを友達に伝えたいという思いや、自分の考えを深めるために友達の意見も聞きたいという思いがもてるような授業づくりに取り組んでいます。教科書から読み取ったことや面白いと感じたこと、心に残ったことなどをペアやグループ、ロイロノートを活用して伝え合う活動に取り組み、生き生きと友達と交流する姿が見られました。子どもたちが授業で考えを伝え合い、考えを広め深める場面を今後も大切に取り組んでいきたいと考えています。



・「つながり」に関わる児童アンケート項目「友達と一緒に考えたり、助け合ったりしている」では、89%が「そう思う」「大体そう思う」と回答し、前回より1%向上しました。「友達の良いところを見つけたり、大切にしたりしている。」では、89%が「そう思う」「大体そう思う」と回答し、前回より2%低い結果となりましたが、前期に引き続き高い割合の子どもたちが友達を大切にしようとしていることが分かりました。同学年の交流だけでなく、他学年のつながりや幼保小交流でも異年齢の子ども同士の交流ができました。年間通して取り組んだフレンドリータイムでは、6年生がリーダーシップを発揮し、縦割り班で遊びや清掃活動に取り組みました。6年生は下級生が楽しめるように一生懸命考え、また下級生は6年生を良い見本として活動に参加している様子が見られました。幼保小交流では、京都にじこども園とこぐま上野保育園の年長園児と1年生の交流をしています。学校の中では一番下の学年ですが、保育園の園児たちが楽しめたり安心できたりするために、お兄さんお姉さんとして進んで関わろうとする姿が見られました。子どもたちが相手のために積極的に関わろうとし、相手のために何かできることの嬉しさや達成感が



感じられる経験を大切にしていきたいと思います。

保護者のアンケート項目「学校からの情報提供や家庭との連携が適切に行われている」では、96%が「そう思う」「大体そう思う」と回答し、前回と比べて4%向上しました。今後も子どもたちの情報共有を積極的にし、学校と家庭で子どもたちの成長を支えていきたいと思っています。

・「挑戦」に関わる児童アンケート項目「勉強をするとき、何のために学ぶかを考えている。」では、82%が「そう思う」「大体そう思う」と回答しました。前回と比べて4%低い結果となりました。「難しいことにもやってみようと思える。」の項目では、84%が「そう思う」「大体そう思う」と回答し、前回よりも6%低い結果となりました。新しい学習が始まる際には、どんな力を身に付けることを大切に学習するのか、学習のゴールの姿はどんな姿なのか子ども自身が見通せるように授業を進めています。また、毎時間の学習のはじめには子ども自身が「めあて」や「学習問題」を設定して、その時間に学習することが明確になるようにしています。子どもたちが最後まで意欲的に取り組み、主体的に学習することを大切にしていきたいと思っています。ご家庭でも、子どもたちが苦手と感じることにも挑戦できるよう、励ましやできたことを褒めてあげてください。



### 学校運営協議会からのご意見

今年度のアンケート結果をもとに、学校運営協議会よりご意見をいただきました。数値に表れた課題だけでなく、日々の取組が子どもたちに確実な変化をもたらしている点についても評価をいただいています。

まず「挑戦する学び」について、教職員が主体的な学びを生む授業づくりに力を入れていることが伝わってくるの声がありました。学校として高い目標を掲げ、学習指導要領改訂を見据えて学力観を深めてきた結果、教職員も子どもたちも自らを振り返る姿勢が育ってきています。その厳しさが今回の数値にも現れているとの意見がありました。

「つながり」の面では、登下校の見守りやゲストティーチャーとの関わりの中で、子どもたちが積極的にコミュニケーションをとる姿が見られたとの声がありました。挨拶が少なく感じられる場面もあるものの、言葉遣いや態度の改善が広がっており、つながりを大切にする教育が子どもたちに浸透しつつあります。

「読書」や「生活習慣」では、読書に関する項目の数値低下や、早寝早起き朝ごはんに課題のある子が増えているとの指摘がありました。家庭・地域との協力のもと、引き続き丁寧に働きかけを進めていきます。

また、保護者向けの情報発信アプリ「すぐる」を学校運営協議会のメンバーにも活用できるようにしてほしいとの提案もいただきました。学校の取組をより深く理解していただくための前向きな意見として受け止めています。

保護者アンケートの回答率は約2分の1でした。寄せられた声を真摯に受け止めつつ、これからの学校づくりに活かしてまいります。

